

第14号 (1967年10月)

第2回日ソ経済合同委員会議に出席して — 港湾および輸送問題を中心に —	山 縣 勝 見 (当財団理事長)
海運景気分析 (9)	下 條 哲 司 (大阪産業大学)
コンテナと国際商業会議所 (ICC)	飯 田 秀 雄 (山下新日本汽船)
Basic Protection Plan (基本的保護プラン) と自動車保険のアンダーラ イテイング — (Best's Insurance News 1967年5月号より要約)	Robert E. Keeton & Jeffrey O'Connell 石 川 太 造 訳・編

第15号 (1968年1月)

海運景気分析 (10)	下 條 哲 司 (大阪産業大学)
海運同盟とロールオン・ロールオフ船 — 北大西洋大陸運賃同盟コンテナ規則その後の変遷について —	飯 田 秀 雄 (山下新日本汽船)
Basic Protection Plan (基本的保護プラン) と自動車保険のアンダーラ イテイング (II)	石 川 太 造
Werner Gumpel, COMECON 海運・港湾政策	鈴 木 孝 明

第16号 (1968年4月)

— 故・佐波宣平教授追悼記念号 —

当財団と故・佐波教授	理事長 山 縣 勝 見
佐波教授の「海事用語根源」など	理事 松 本 一 郎
コンテナ輸送における3つの思想 — コンテナ：プールとコンテナの所有者 —	飯 田 秀 雄 (山下新日本汽船)
Basic Protection Plan (基本的保護プラン) と自動車保険のアンダーラ イテイング (III)	石 川 太 造
海運景気分析 (11)	下 條 哲 司 (大阪産業大学専任講師)